

東京農工大学との連携により地域づくりを図るための共同研究を実施

< 東京都 >

| | |
|--------------------|--|
| 市町村・集落の名称 | あきる野市小宮・戸倉地区 (十里木・長岳農畜産物等直売組合) |
| 協働の相手(企業や大学等)の名称 | 国立大学法人 東京農工大学 |
| 仲介者・コーディネーターの名称 | なし |
| 協働のポイント | |
| 協働のきっかけ・経緯 | あきる野市では、市内西部に位置する小宮・戸倉地区の活性化を図ることを目的に、十里木・長岳周辺地域観光拠点整備事業に基づき温浴施設の整備を行っていた。この事業と連携し、地域資源を活用した地域づくりを図るための施策について、平成17～18年度にわたり、あきる野市と東京農工大学とで共同研究を行うこととなった。 |
| 取組の具体的な内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民による農産物直売活動について指導・助言 ・地域活性化のため先進地視察を実施し、研究・検討 ・農産物特産品開発のため戸別ヒアリングを実施し、地域資源をいかした地域づくりにむけた調査・研究 |
| 農村地域への効果 | 直売活動については、視察を行うことにより、組合員自らが先進地の取り組みや成功ポイントを学ぶことができた。耕作意欲も高まり、8軒の農家がパイプハウスを導入し、不耕作地も減少しつつある。また、品質のよい農産物を栽培していくためには土づくりが欠かせないという共通認識が生まれ、バランスの取れた土づくりをするために随時勉強会を開催して研究に励んでいる。 |
| 都市部の主体(企業や大学等)への効果 | |
| 仲介者等の役割 | なし |
| 今後の課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・土づくり及び農産物の品質の向上 ・効果的な演出・販売に向けた研究 ・工芸品や加工品の特産物・目玉商品の開発 ・組合員以外の地域住民との交流や組織の強化 ・後継者の育成 |
| 関連事業(国・都道府県等) | なし |